

平成 27 年 死亡重大災害発生状況

(確定)

高知労働局

業種別発生状況（死亡者数累計及び前年同期比較）

	製造業	鉱業	建設業	運輸業	林業	水産業	第3次産業	その他	合計
平成 27 年	1	0	2	1	0	0	0	1	5
平成 26 年	1	0	4	1	4	0	1	0	11
増減	± 0	± 0	- 2	± 0	- 4	± 0	- 1	+ 1	- 6

注：「その他」は、農業・畜産業

番号	署別	発生日 (時刻)	業種	年齢 (性別)	事故の型 (起因物)	災害のあらまし
重災 1	須崎	27.1.4 (18:45)	製造業 (化学工業)	31 歳(男) 48 歳(男) 51 歳(男)	有害物等との 接触 (有害物)	製品製造機械の配管の詰まりを取り除く作業において、配管内からアルカリ溶液が噴き出し、3 名が顔や目等に浴び、薬傷を負った。
1	高知	27.2.20 (10:25)	建設業 (道路建設工事業)	56 歳(男)	墜落、転落 (移動式クレーン)	道路改良工事において、ホイールクレーンで重さ 3.6 t の既製品の擁壁を吊り、回転したところ横転し、道路から 3 m 下へ転落した。
2	高知	27.6.22 (21:25)	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	46 歳(男)	崩壊、倒壊 (その他の材料)	製紙工場で、トラックの荷台に設けられたスライドデッキ装置により、パーク(樹木の皮)を自動で地面に降ろしていた運転者が見当たらないので、捜索したところ、パークに埋もれているのを発見した。
重災 2	四万十	27.7.17 (15:10)	建設業 (道路建設工事業)	56 歳(男) 62 歳(男) 69 歳(男)	転倒 (掘削用機械)	道路の側溝改修工事において、掘削作業中ドラグショベルが横転し、運転者が転落した。また、近くに居た労働者 2 名にドラグショベルが接触した。
3	安芸	27.7.21 (不明)	農業 (農業)	62 歳(男)	墜落、転落 (その他の仮設物、建築物、構築物等)	終業時刻になっても帰って来ない労働者を捜索したところ、谷川で倒れているのを発見した。(畑に通じる山道の途中にある谷川に掛けられた丸太の橋を渡っていて足を滑らせ、橋の横の 3 m 下の滝つぼに墜落したものと推測される。)
重災 3	須崎	27.7.29 (9:00)	建設業 (道路建設工事業)	62 歳(男) 32 歳(男) 16 歳(男)	墜落、転落 (不整地運搬車)	道路工事において、不整地運搬車を運転中に操作を誤り道路から谷へ転落した。また、その前方を歩いていた労働者が、不整地運搬車を避けようとして 1 名は谷へ転落、1 名は転倒した。
4	高知	27.8.31 (13:20)	建設業 (道路建設工事業)	56 歳(男)	激突され (立木等)	道路復旧工事において、支障木(杉、胸高直径 64cm)の幹にワイヤロープを取り付けチルホールで山側に控え、チェーンソーで伐倒していたところ、予定と違う方向に倒れ激突された。
5	須崎	27.10.5 (17:00)	製造業 (セメント・同製品製造業)	49 歳(男)	崩壊、倒壊 (その他の材料)	フォークリフトを用いコンクリート製品(側溝の蓋)を積み上げる作業をしていた労働者が、フォークリフトの前で、積み上げた製品が崩れ下敷きになった。
重災 4	安芸	27.12.17 (11:10)	建設業 (建築工事業)	30 歳(男) 23 歳(男) 50 歳(男)	崩壊、倒壊 (足場)	鉄筋コンクリートの躯体に先行して組立中の枠組み足場が、強風にあおられ内部側に倒れ、3 層目で作業中の 1 名が墜落、地上で作業中の 2 名が足場の下敷きになった。

注：(1) 番号欄において、数字のみのものは死亡災害、「重災」が付されたものは重大災害(休業、不休を問わず一時に 3 人以上が死傷した災害)を表す。

(2) 業務上外、調査中のもの等を含む。